

2016.8.25

北九州市教育委員会 公開講座

通常の学級におけるユニバーサルデザインの具体的支援

一気になる子の実態把握と校内体制づくり

・授業の中で出来る支援について

堺市立日置荘小学校通級指導教室

堺市特別支援教育推進リーダー養成講座講師団

S.E.N.S-SV 特別支援教育士スーパーバイザー

自閉症スペクトラム支援士アドバンス

首席 山田 亮

1

最初にお伝えしたいこと 色々なテクニックを覚えて 子どもに使ってみるのではない

★ 自分に支援方法の引き出しを増やして行くだけでは有効な支援を行うことは出来ない。

★ 支援の必要な子どもたちへの支援では、まずアセスメントを必ずする必要があります

★ アセスメントをせずに支援方法を考えることは子どもを苦しめる結果になります

子どもの状態をつかむことが先

2

- 1,まず、子どもの状態を明らかにし
- 2,子どもの特徴を明らかにし
- 3,子どもの特徴と、子どもの状態の因果関係を明らかにする
- 4,明らかになった困難の因果関係から、対応を考えていく

特別支援教育は、科学的手法で、
支援方法を考えていく

3

子どもを大切にすることは？

👤 子どもの気持ちに寄り添う？

👤 子どもの言いなりになることではない

👤 子どもが、こちらからの働きかけにどう反応するかをしっかりと考える

👤 子どもの視点にたてるか

4

とんでもなく困った子ども

👤 授業中に授業妨害、勝手な行動

★ A君

👤 先生や親のとらえ方は、

「ちゃんと授業を受けない子ども」

「全然、言うことを聞かない子ども」

5

子どもにあわせた授業の工夫

👤 ユニバーサルデザインの考えに沿った授業

ユニバーサルデザインとは・・・

6

ユニバーサルデザインとは？

- ★ 支援の必要な子どもたちの特徴がわかっていなければならない
- ★ 子どもの困難の要因がわかる
- ★ 困難の要因を踏まえて具体的な支援方法がわからなければならない
- ★ ユニバーサルデザインありき ではなく
- ★ 子どもありき である
- ★ 子どもを語らずユニバーサルデザインは語れない
どの子ども分かるためのユニバーサルデザイン

7

ユニバーサルデザインを 意識した クラスづくり・授業づくり

- ★ クラス全体を視野にいれ、さまざまな子どもの特徴にフレキシブルに対応できることが大切
- ★ 子どもを語らずユニバーサルデザインは語れない

8

子どもがわかりやすい

子どもの視点に立つ必要がある

- ★ 子どもにわかりやすい
- ★ こちらの側の考えだけになりやすい

子どもをきちんとアセスメント
することから始める

9

学級開き

1年のスタート

最初が肝心なので、計画たてます
どんな計画たてましたか

10

学級作りで大切なこと

子どもと先生の信頼関係を築く

この信頼関係の構築は
最初が肝心です

11

学級作りで大切なこと

ルールを決める

クラスのルール
授業のルール
先生のルール

どんなルールを決めていますか

12

ルールの徹底のために

ルールを決める

最初にきちんとルールを伝える

13

どんなルールをつくるか

注目の仕方

先生が話し始めたら

友達が話しているときは

書くときは、しゃべらない

わからないときはどうする

勝手な行動や私語に抑制をかける

14

先生自身にもルールを

子どもたちの意見や考えを

きちんと聞き取るための

自分に課すルール

子どもの視点に立つためには

子どもの意見をしっかり聞く

そのための仕組みを

15

子どもたちが目標を

書いたりしますが

子ども任せにしないこと

具体的に実現可能な目標を立てさせる

まず、現状を考えさせる

どこまで頑張るかを考える

先生と相談しながら一緒に考える

16

**授業作りは、
授業のユニバーサルデザイン**

**もう一度
ユニバーサルデザインを
考えてみましょう**

17

新しい概念：合理的配慮

- ☞ 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」【障害者差別解消法】
- ☞ 障害のある人の社会参加を妨げるようなことはしてはいけない。
- ☞ 社会参加に必要なことは、全てしなければならない。
- ☞ 国や地方公共団体・つまり学校は「法的義務」をおう。

18

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」

- このたび、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（平成25年法律第65号。以下「本法」という。）は、平成25年6月26日に公布され、一部を除き平成28年4月1日に施行されることに伴い、別添のとおり内閣府より通知が発出されたところです。
- 都道府県教育委員会、指定都市教育委員会、都道府県知事及び小中高等学校を設置する学校設置会を所轄する構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の長におかれては、本法の内容について、域内の市町村教育委員会、所管の学校等に対し周知いただきますようお願いいたします。
- なお、今後政府としての基本方針等を策定する予定ですので、策定後には改めて周知させていただきます。

19

ユニバーサルデザインと合理的配慮

- 例えば、算数の文章問題の指導では？
- 文章問題を考えるのに挿し絵が必要な子どもたち
- 授業で挿し絵を使う
「ユニバーサルデザイン」

20

ユニバーサルデザインと合理的配慮

- 例えば、算数の文章問題の指導では？
- 挿し絵無しで考える段階になったとき
- 挿し絵がないとわからない子どもの授業参加をどう保障するか
- その子どもたちには挿し絵を提供する
- これは授業参加を保障する
「合理的配慮」

21

合理的配慮とユニバーサルデザインの違い

	合理的配慮	ユニバーサルデザイン
視覚支援	個人だけに提示	全体に提示
観点	その子どもの授業への参加のために	みんながわかりやすいようにが視点

22

それぞれの場での合理的配慮

- 1) 教育委員会などが考える合理的配慮
入試など、制度を考える
合理的配慮の申し出を受けて検討する
- 2) 学校が考える合理的配慮
学校で、他の児童生徒と同様の生活を保障するための配慮の検討
- 3) 私たち教師が考える合理的配慮
授業で子どもの学びを保障する

23

合理的配慮のクラスづくり

支援の必要な子どもに通常クラスの中で必要な支援を考える



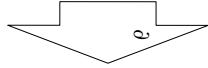
みんな同じことをします。ではなく
みんなが同じ目標に向かって努力する。
でも道筋は人それぞれ

みんな違ってみんないい

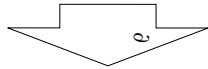
24

合理的配慮とは

保護者の言いなりになることではない。



学校と保護者が、子どものために協議して対策を考えることである



学校が発達障害についての知識をしっ
かり持たねばならない

25

積極的 I C T活用とユニバーサルデザイン

手早く、効率的に、拡大して
見せることが可能

大型テレビをモニターとして使い

パソコン

デジカメ

実物投影機

タブレット端末

26

ユニバーサルデザイン授業を 見るときの大切な視点

- 1, どの子どもに焦点をあてた授業展開なのか。クラスの実態に沿っているのか。
- 2, 授業を通して、みんなわかったのか。
- 3, ユニバーサルデザインと合理的配慮が
どのように使われているか

27

ユニバーサルデザイン授業 日置荘小学校スタンダードモデル 改訂版（2015年度作成）

28

指導案の書き方

- 1, 授業の展開と関連づけた支援の方法。
- 2, 子どもの特性に沿った支援だとわかる
記述。
- 3, 教室環境での配慮工夫も書いておいた
方がよい。

29

ユニバーサルデザインを使った指導の ビデオ紹介

なかなか賑やかなクラスです
テレビの活用や、子どもたちの意欲づけなどに注目
してみてください

30

学びを支える授業と 子どもへの支援

練習を「めんどくさがる」

漢字の練習もしない

計算の練習もしない

という子どもが多い

覚えられないわけがない

31

覚えるとはどういうことか

記憶する・覚えておく・思い出す

この一連の流れが

覚えるという行為の具体的な流れです

記銘・保持・想起

授業の中や子どもの学習活動をこのプロセスと
の視点で見直すことが必要

32

例えば、漢字の練習

テスト直前の練習

「記銘」が短期記憶へ

短期記憶に蓄積

長期記憶から思い出さ
ない

長期記憶でないの当然
「保持」されない

漢字は定着しない

「想起」されない

33

結果

小テストは何とかクリアするが

長期記憶でないので

大きなテストでは、覚えられない

大きなテストを何度もやり直して合格させても、短
期記憶の積み重ねである以上

効果は上がらない

勉強はしているのに効果が上がらないので

やる気をなくす⇒悪循環

34

想起に焦点をあてて学ばせる

授業の漢字指導で覚えてしまうことを

意識づける⇒書かなくてもよい

覚えることは、思い出す手がかりを残すこと

授業で

「この漢字はどうやったら思い出せるか」

を意識させる

ここで覚えたら、あとの全ての漢字の練習は
思い出す作業になる

35

Eさん：2年生の女の子

漢字の書き取りで0点を取ってくる

漢字を書いても書いても覚えられないBちゃん

1時間、お母さんが特訓をしても、翌日の書き取り
で0点を取ってしまいます。

36

Gさん：5年生の女の子

友達が出来ない。
私のことをみんな悪く言っている

学校ではあまり問題を感じていなかった
成績は普通に出来る。友達も少ないが、大きなトラブルは
あまりない

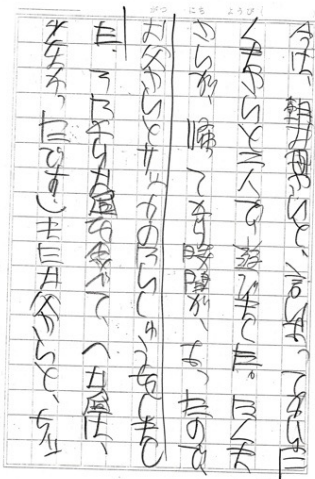
37

国語のテストが全然出来ない

- テストはクイズだ！
- 国語のテストには赤い雨が降っている。
- 助詞も何回指導しても、適切に書くことが出来ない

実際のテストをみましょう

38



事例
アスペルガーの
子どもの書字

どう指導しますか

39

事例：中学2年生の男子

40

スペシャルバージョン

とっても大変といわれる子どもたちへの対応

基本的には、現象への対応ではなく
根本への対応

41

興奮してすぐに噛む子ども

診断は高機能タイプの
自閉症スペクトラム障害

普段はそんなに大騒ぎするわけでもなく
授業も静かにすわっていることも

42

どんなときに噛むか なぜ噛むか

自分が注意されたとき
課題ができないとわかったとき
否定的状況が受け入れられない特徴から
でも、もう一つ重要なことが、優しい先生に噛む
自分を受け入れてくれる先生には何をしてもいい → と思い込む
優しい先生には、否定的を我慢するハードルが低い → すぐに興奮する
俺ルールが発動している

43

どう対応するか

医療と連携：投薬の検討

否定的な状況を作らない：そのためにはどうしたらできるかというところに力をそそぐ

俺ルールへの対応：最初に枠組みをきちんと示す。先生は「こんな事で怒る」「こんな時に褒める」を最初に示してその通りに対応する

興奮状態で話し合わない：まず落ち着くを合い言葉に

この複数の観点を同時に整理して対応

44

子どもたちの荒れは 学習のつまずきから

- 学習のつまずきから、二次障害へ
- 不適切な行動へ

学習のつまずきのへの対応
授業の改善—学習への支援が一番重要

この場面で力で押さえ込むと
数年後に爆発することがある

45

小学校高学年からの特性理解の注意点

- やる気のない子どもの特性の理解
- やる気という「精神論」で処理していないか
- 出来ないから→やる気ができない
- やり方が分からないから、出来ない子ども
- 集中力がないから、出来ない子ども
- 理解力が弱いから、出来ない子ども

46

問題行動をよく起こす子どもたちへの対応

効果のない指導
問題行動を修正する指導(後追いの指導) 叱ることが増えてしまう

望ましい指導
すべきことを示して、出来たらほめる
後追いではなく、先手先手で声をかけていく
モデルを示す、見通しを持たせるなどの方法

47

背景となる要因には

- 俺ルール
- 不安・心配症
- 勉強がわからない
- 達成感がない
- 親子関係→愛着障害
- 家庭の問題→虐待
- などなど

もちろん発達障害が背景にあることもよくある
それぞれの要因と問題行動の因果関係解析が重要である

48

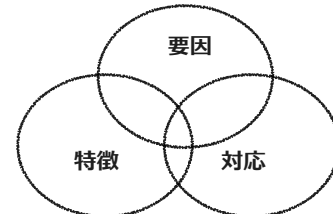
対応の誤りが問題を大きくする

- 出来ないことをことさら強調
- 見通しのない授業
- 子どもの話を聞いてやらない
- 学校で問題無いからと放置
- 私はおさえられるからと、問題の共有をしなかった
- 子どもに「寄り添う」という名の「いいなり」
などなど
- 特性や問題行動の背景に気づかないことや
そういうことに関心を向けないことからおこってくる

49

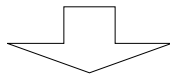
要因と特徴と対応

この3つの関係が絡んで問題事案に



50

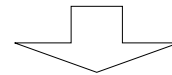
適切な対応のためには、
解析が必要



そのために考えられた
子ども支援委員会のシステム

51

保護者に課題があることも多いが、
保護者の協力が得られないこともよくある



保護者の協力を得るために
子ども支援委員会のシステム

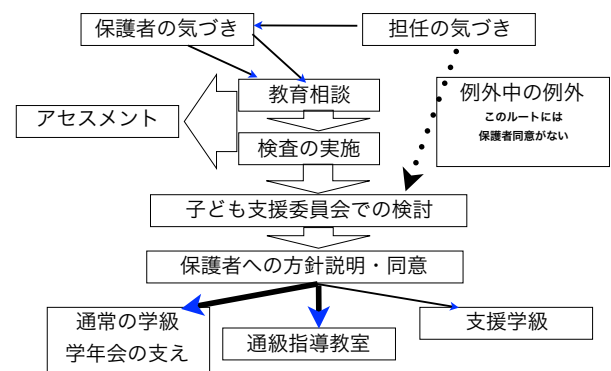
保護者をその気にさせて
納得ずくの対応を作る必要がある。

52

日置荘小学校校内支援システム 子ども支援委員会

53

子ども支援の具体的な流れ



54

子どもの特徴を早期につかむために

- アセスメントを最初にするために保護者の教育相談を前に配置する。
- ここで、生育歴や幼稚園・保育園の様子など、しっかり聞き取ることで、どんなタイプの子どもから探っていく。

「どうしよう？」と対応から始めない

55

子ども対応で保護者とトラブルのは

- 子どもさん、何とかして下さい
- 家庭では、どんな対応をされてるんですか
- ADHDじゃないですか
- 病院にいかれたら・・・
- などなど

保護者に
言ってしまうてもめる
言えなくて困る

56

保護者に「結論」を
伝えようとするからもめる

保護者に「対策」を
丸投げするからもめる

57

子どもの困難な状態の共有から始める

- 「お母さん、大変やねえ」
- 「お母さん、苦労されたねえ」
- 「私も、困っているんです」
- 二人で「どうしましょう」
- アドバイスもらいに、子ども支援委員会の教育相談一緒にいきませんか

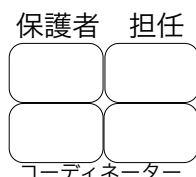
結論を押しつけず
一緒に考えていきましょう
保護者の思いは？

58

保護者の気持ちを考えた座席配置

保護者との協力共同から始まる支援

- 学級担任も一緒に相談にくる
- 保護者と担任が相談する側協力共同の立場にたつ



59

保護者の気持ちに寄り添い 教育相談に申し込みやすくする

- 担任も一緒にきてくれる。
- 「特別支援」という言葉が、ハードルを上げる。
- 「どの子どもも困っている子どもは支援します。」というスタンスを取る。

困り感の気づきから支援の確定まで、
担任がずっと一緒に付き添ってくれる

60

通級も不登校も、問題行動もすべて 子ども支援委員会の教育相談に集約します

- 保護者との協力共同をすすめるために、教育相談に持ち込むことで、アセスメント（検査等を含む）して子どもの特性をあきらかにし、様々な支援に生かすことができるからです。
- その後の対応で、役割分担していく

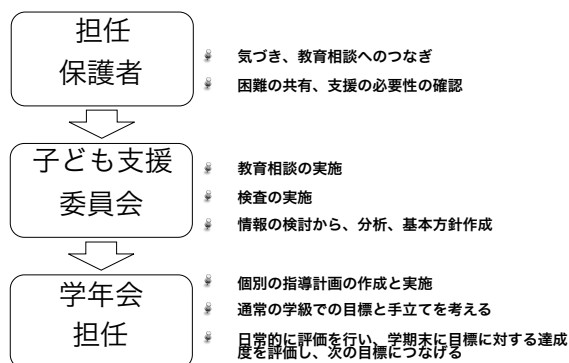
61

声のかけ方マニュアルがあります

- 1, 子どもが支援の必要な子どもかどうか担任が気づく。
- 2, 家庭訪問、個人懇談、家庭連絡などの機会を通じて、保護者に声をかける。
- 3, その際、子どもの困難な状態を保護者と共有する。
- 4, 「お母さん何とかありませんか」や「何とかして下さい」のような声のかけ方は絶対しない。※「問題ですよ」などという声のかけ方はしないようにする。保護者と子どもの状態によりそう。
- 5, 子ども支援委員会から出ている案内プリントなどを示し、「私もアドバイスほしいから、相談乗ってもらって、どうしたら良いか一緒に考えていきませんか」「一緒に子ども支援委員会の教育相談に行ってもらえませんか」というように声をかける。
- 6, 保護者と一緒に考えて子どもの改善のために、ともに頑張りましょう、というスタイルをくずさない。

62

学校全体で取り組むための支援の構造と役割分担



63

早期支援できなかつたら

低学年から、何か変やねえと言い続け、
プチもめ事は起こるが、大事にはならず
家庭と連携できないので、家庭の状況が把握できず
ある日突然
勉強が難しくなったり、人間関係が複雑になったときに、
子どもが対応出来ず

ドッカンと大爆発

64

時間があれば紹介

おまけ

実際の授業で使う支援のいろいろ

教室環境や、授業での掲示などの特徴を紹介します。

65



堺市三校の通級指導の 本を書きました

- 通級指導での個別の指導の方法や教材活用について紹介した本を書きました。
- どなたでも読める内容ですので、よろしくお願ひします

66



誤り分析で始める！学びにくい子への「国語・算数」つまづきサポート

著者：村井敏宏・山田 充
発行：明治図書

67



算数の文章問題が苦手な子どものための
算数文章題のイメージトレーニングワークブックです

著者：山田 充
発行：かもがわ出版

68

意味から覚える 漢字イラストカード



特別支援教育のためのカード教材

漢字がなかなか覚えられない。書いても覚えられない

個別指導、小集団指導、通常の学級での班指導、家庭などで使用可能

69

言葉の力を高めるゲーム教材 かなかなパズルゲーム改訂版



特別支援教育のための
カード教材

拗音・促音・長音などの特殊音節をゲームを通して意識化する教材。

個別指導、小集団指導、通常の学級での班指導、家庭で親子で遊ぶ

70